

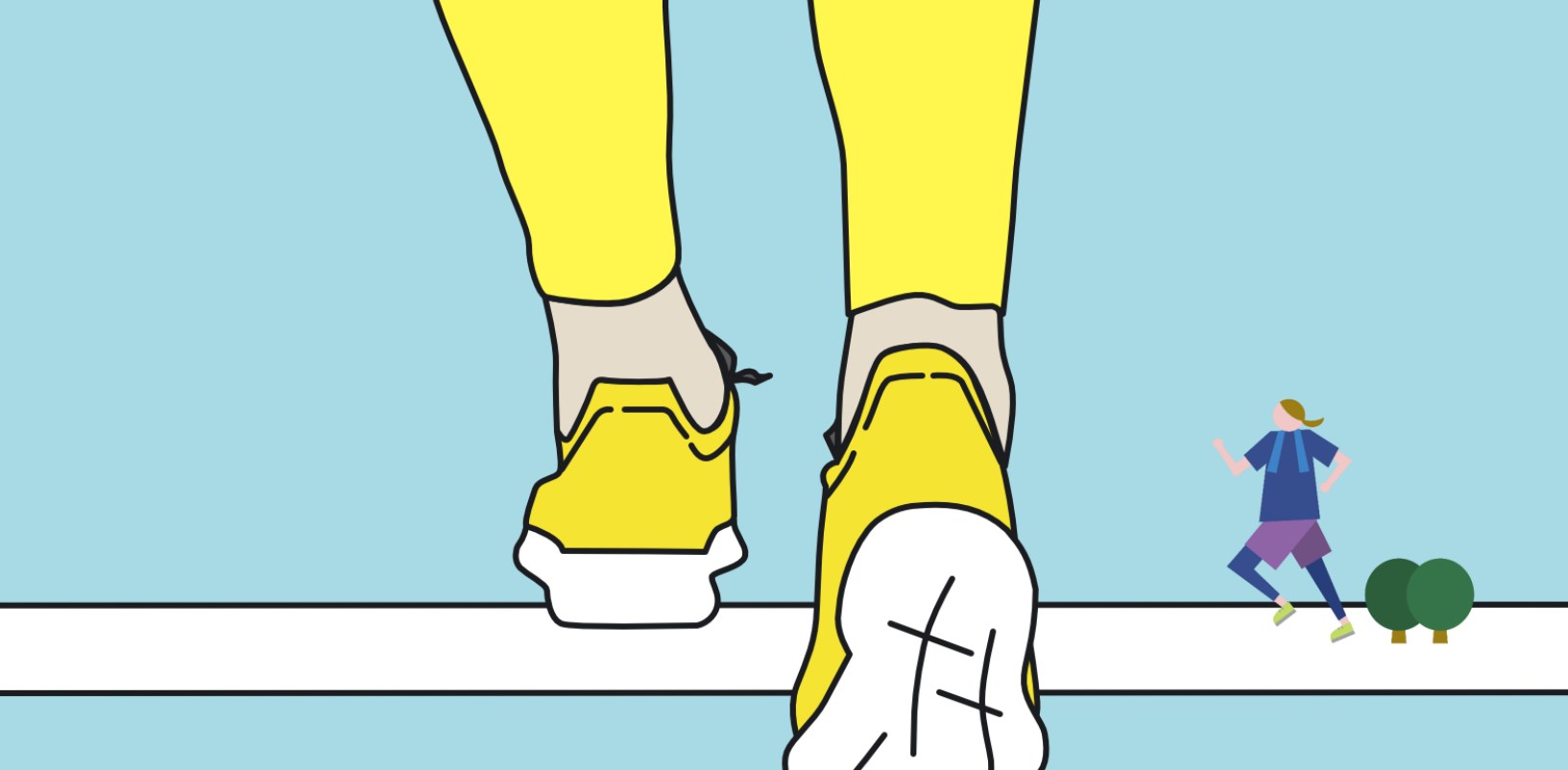


大阪公立大学
生涯学習センター

公開講座のご案内

2026 10月～3月





START

ごあいさつ

生涯にわたる多様な学び継続のための公開講座

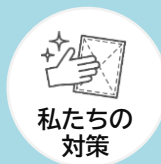
大阪公立大学生涯学習センターは、それぞれに長い歴史を有した大阪府立大学と大阪市立大学を統合して誕生した総合大学ならではの「総合知」を活かし、生涯にわたる学びの機会を提供する場として設立されました。私たちの使命は、学術的な知見を地域社会に広く還元し、多様な学びを通じて人々の知的探究心を育むことにあります。

本センターでは、大学の教育研究成果を基盤に、時代のニーズに応じた質の高い学習プログラムを展開しています。専門知識の習得だけでなく、異なる分野を横断的に学ぶことで生まれる「総合知」を提供し、多様な視点からの学びを推進しています。

地域の学びの拠点として、世代や背景を超えた交流の場を創出し、人と人とのつながりを通じて、新たな価値を共に創造してまいります。皆さまが学びを通じて新たな可能性を発見し、より豊かな人生を歩んでいただけるよう、心よりお待ちしております。

生涯学習センター長 樋口 由美

安心安全に受講していただくための対策とお願い



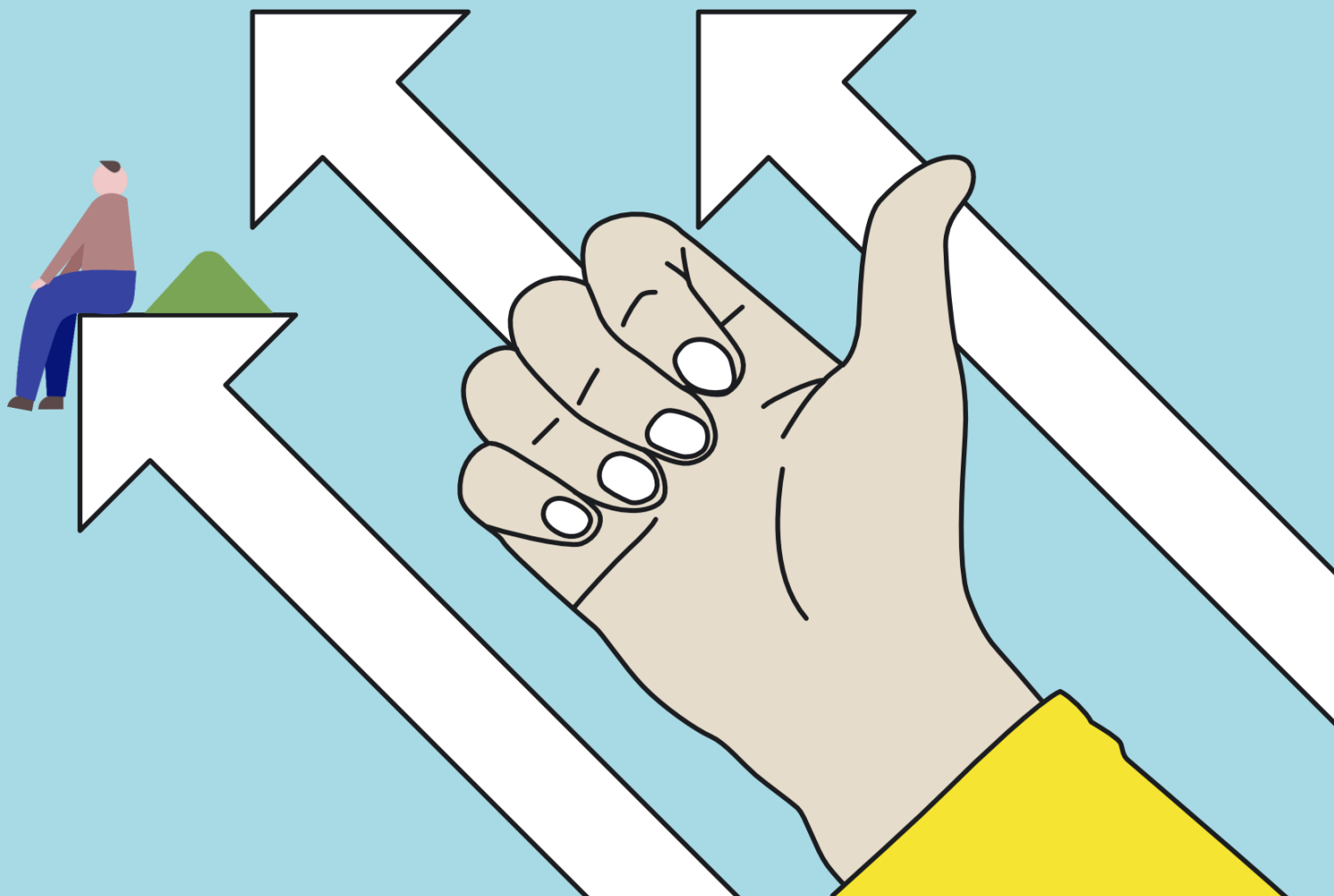
- ・常時空調運転による換気を実施しています。
- ・講座の前後に教室内、施設内を消毒しています。



- ・発熱や体調不良のある方は、参加をお控えください。
- ・会場では基本的な感染症対策(手指消毒、換気の実施等)ご協力ください。

受講に際しての注意事項

- ・受講生本人以外の代理出席、同伴、見学はできません。
- ・車両での来学はご遠慮いただいております。公共交通機関をご利用ください。
- ・受講に際し、障がい等を理由としてなんらかの配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
- ・講義中、講師や他の受講生に迷惑になるような行為、その他本学が講座運営上不適切と判断する行為があった場合は、受講資格を取り消すことがあります。
- ・感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容が変更となる場合があります。
- ・上記のほか、受講にあたってのご案内・注意事項はP16～17をご覧ください。



Meet 学問に出会う

難易度 ★(初心者歓迎)

古典文学のなかの「昔話」						P3
開催日	10/1～12/10	定員	各60名	受講料	7,000円（全10回分）	I-siteなんば 人文
ブルーノ・タウトとモダニズム建築						P4
開催日	10/3～10/24	定員	30名	受講料	4,000円（全4回分）	I-siteなんば, 杉本キャンパス・他 人文
植物生態学入門「野生植物の集団維持のしくみ」						P5
開催日	10/6～10/20	定員	60名	受講料	3,000円（全3回分）	I-siteなんば ライフサイエンス
機能的なウォーキングエクササイズ						P5
開催日	10/19～12/14	定員	50名	受講料	5,000円（全8回分）	森之宮キャンパス 生活・健康
美術史は革命の歴史?! ―ルネサンスからモダニズムまで						P6
開催日	10/7～11/11	定員	60名	受講料	5,000円（全6回分）	I-siteなんば 人文
豊臣時代の大坂城・城下町の新研究						P7
開催日	11/2～12/14	定員	100名	受講料	4,000円（全4回分）	I-siteなんば 人文
聞こえているのに聞き取れない―「聞き取り困難症(LiD)」を知る―						P8
開催日	11/27	定員	60名	受講料	1,000円（全1回分）	I-siteなんば 生活・健康
和歌山大学連携事業公開講座						P8
開催日	12/10・12/16	定員	受講料	※企画中	南海波切ホール	I-siteなんば 未定
関西大学連携事業公開講座						P8
開催日	2/27・3/10	定員	受講料	※企画中	関西大学梅田キャンパス	I-siteなんば 未定
音楽と科学～その共通性を探して～						P9
開催日	2/8～3/15	定員	50名	受講料	5,000円（全6回）	I-siteなんば 理工
私たちの暮らしとお金を考える						P10
開催日	10/22・10/29	定員	各120名	受講料	無料	文化交流センター 社会
専門家講座						P11
開催日	11/19～2/25	定員	各120名	受講料	1回500円	文化交流センター 横断

Enrich 学問を深める

難易度 ★★(要基礎知識)～★★★★(専門職向け)

授業公開講座(後期)						P13
開催日	9/29～授業日に基づく	定員	各科目10名	受講料	15,000円（1科目分）	森之宮キャンパス, 杉本キャンパス 横断

公開講座の会場 ※地図は本冊子P19～20をご覧ください。

公開講座のカテゴリー ※各講座の右上に表示しています。

人文(哲学、歴史、教育、心理、言語、文学、芸術、文化 など) 社会(経営、経済、法学、政治、都市防災 など)
IT(情報、通信、人工知能 など) 理工(数学、自然科学、工学 など) ライフサイエンス(生物、農学、獣医学 など)
生活・健康(医学、看護、福祉、栄養、居住、スポーツ など) 横断(分野横断) その他

Meet

学問に出会う



申込締切
9/8(火)

古典文学のなかの「昔話」

人文

講座の詳細・申し込み ▶



日時：10月1日(木)～12月10日(木) 午前の部 10:30-12:00、午後の部 14:00-15:30 各木曜日・全10回

定員：各60名 受講料：7,000円（全10回分）

URL：https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-06779.html

I-siteなんば

講義概要

「昔話」の祖型を古典文学の世界に求めるとき、そこには勧善懲悪で平板な昔話のイメージとはまったく異なる奥深い物語が姿を現します。本講座では、代表的な5つの「昔話」を取り上げ、古典の世界に遡することで、その本来の姿を味わうとともに、現在に至る物語の変遷の相をも明らかにしていきます。

講師 小林 直樹（大阪公立大学大学院 文学研究科 特任教授）



講義スケジュール

第1回 10月1日(木)	瘤取り爺① 現存最古の瘤取り譚である『宇治拾遺物語』「鬼に瘤取らるる事」を読み解き、この物語の本来の魅力を明らかにします。
第2回 10月8日(木)	瘤取り爺② 日本の仏教説話や海外における瘤取り譚を紹介し、異界との交流という側面からこの物語を読み解いていきます。
第3回 10月22日(木)	腰折れ雀① 腰折れ雀の最古の伝承である『宇治拾遺物語』「雀報恩の事」を、瘤取り譚と同様、異界との交流という視点から読み解いていきます。
第4回 10月29日(木)	腰折れ雀② 『宇治拾遺物語』「雀報恩の事」に取材したお伽草子『雀の夕顔』や、江戸時代の舌切り雀の伝承を読むことを通して、物語の変遷について考えます。
第5回 11月5日(木)	浦島太郎① 浦島伝承の最古型である『日本書紀』や『丹後国風土記（逸文）』の水江の浦島子の物語を、中国の異界伝承も視野に入れながら読み解いていきます。
第6回 11月12日(木)	浦島太郎② お伽草子『浦島太郎』を読み解くとともに、現行の昔話に強い影響を及ぼした巖谷小波の『日本昔噺』「浦島太郎」を紹介します。
第7回 11月19日(木)	藁しべ長者① 藁しべ長者譚の古型である『宇治拾遺物語』「長谷寺参籠の男、利生に預かる事」を、長谷寺観音の靈験譚として読み解いていきます。
第8回 11月26日(木)	藁しべ長者② 『沙石集』の著者無住が『雑談集』に書き留めた藁しべ長者譚を読み解きながら、この物語の特徴について考えます。
第9回 12月3日(木)	一寸法師① 一寸法師の物語のオリジナル版であるお伽草子『一寸法師』を住吉神の靈験譚仕立ての物語として読み解いていきます。
第10回 12月10日(木)	一寸法師② 現行の昔話に大きな影響を及ぼした巖谷小波『日本昔噺』「一寸法師」を紹介するとともに、シリーズ全体のまとめを行います。

申込締切
9/9(水)

ブルーノ・タウトとモダニズム建築

人文

講座の詳細・申し込み ▶



日時：10月3日(土)～10月24日(土) 14:00-15:30 各土曜日・全4回

定員：30名 受講料：4,000円（全4回分）

URL：https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-06768.html

I-siteなんば、
杉本キャンパス・他

講義概要

ドイツの建築家ブルーノ・タウト（1880－1938年）は、ドイツでナチスが政権を掌握すると日本に亡命しました。日本では建築家としては十分な活動はできませんでしたが、日本文化について論じるなど日本社会に誠実に向き合って3年半の期間活動をしました。タウトの活動の跡や彼に影響をうけた人物の活動から日本社会におけるタウトの影響を語ります。

講師 北村 昌史（大阪公立大学大学院 文学研究科 教授）



講義スケジュール

第1回
10月3日(土)
I-siteなんば

日本とトルコにおける『アルプス建築』

タウトは建築活動と並行して著作活動を展開しました。彼の代表作は、第1次世界大戦中に書いた『アルプス建築』です。戦争するくらいならアルプスの山々の頂に無用の構造物を作ったほうがよいと述べた作品です。『アルプス建築』の実例としてタウトが設計して実現しなかった生駒山上住宅地を取りあげます。

第2回
10月10日(土)
I-siteなんば

大阪公立大学杉本キャンパスのモダニズム建築群

杉本キャンパスは、1930年代に作られましたが、当時設計を担当したのは大阪市建築課長の伊藤正文です。タウトの設計した建物を念頭に置きながら、杉本キャンパスのモダニズム建築について語ります。

第3回
10月17日(土)
杉本キャンパス

杉本キャンパスのモダニズム建築実地見学（フィールドワーク）

時計台のある1号館を手始めに、杉本キャンパスのモダニズム建築群を巡り、建物に施されている様々なデザインや工夫について説明します。
※雨天決行 ※現地集合・交通費は自己負担

第4回
10月24日(土)
生駒山上住宅地

生駒山上住宅地実地見学（フィールドワーク）

生駒山上住宅地の計画は、建物はタウトの設計からかけ離れたものとなりましたが、道路はタウトが設計したとおり現在もほぼ残っています。タウトが住宅地の中核とした飛行塔から始めて道路を辿り、タウトが日本に残したものを体験します。
※雨天決行 ※現地集合・交通費は自己負担



申込締切
9/10(木)植物生態学入門
「野生植物の集団維持のしくみ」ライフ
サイエンス

講座の詳細・申し込み ▶



日時：10月6日(火)～10月20日(火) 14:00-15:30 各火曜日・全3回

定員：60名 受講料：3,000円（全3回分）

URL：https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-06837.html

I-siteなんば

講義概要

植物は光合成によって有機物を生産し、生態系の基盤を支える生産者として、ヒトを含む多くの生物の生存を支えています。本講座では、自然環境の中で野生植物がどのように生き抜き、集団を維持しているのか、そのしくみを解説します。さらに、繁殖や分布、遺伝的多様性に関わる多彩な戦略について、具体的な研究事例を交えながら紹介します。

講師 名波 哲（大阪公立大学大学院 理学研究科 教授/大阪公立大学附属植物園 園長）



講義スケジュール

第1回
10月6日(火)

植物の複雑で多様な性

植物の世界には、両性花、雌花、雄花の3種類の花があり、どの花を咲かせるかによって、1本1本の株の性が決まります。植物の性は、動物のそれに比べると、ずっと多様です。また、性転換、性配分、雌雄異熟という現象が、植物の性を一層複雑なものにしています。本講座では、性、すなわち雌と雄という観点から、植物たちの豊かで興味深い個性を紹介します。

第2回
10月13日(火)

DNA解析により見つかった野生植物の巨大クローン

遺伝的多様性の重要性を解説するとともに、DNA解析により明らかになった巨大なクローン植物の存在を紹介します。同一のDNAをもつ個体が広がる現象から、多様性の意味や維持の仕組み、環境変化への応答や生態系の持続性との関係をやさしく考えます。

第3回
10月20日(火)

野生植物集団の生態分布と遷移

野山に広がる植物の「分布」と「うつり変わり（遷移）」を、身近な風景を例にやさしく紹介します。気候や地形、台風などの出来事が植物にどう影響するのか、時間とともに森や草原がどのように姿を変えていくのかを学びます。さらに植物が支える生物多様性、生き物同士のつながりも考えます。

受付開始
8月中旬協創研究センター講座（スポーツプログラム開発センター）
機能的なウォーキングエクササイズ

生活・健康

日時：10月19日(月)～12月14日(月) 10:30-11:30 各月曜日・全8回

定員：50名 受講料：5,000円（全8回分）

Webページ公開・申込受付開始：8月中旬～

森之宮キャンパス

講義概要

加齢とともに下肢筋群や全身持久力が低下していきます。こういった問題を解決するための手段としてウォーキングが推奨されます。ウォーキングは速度を変えることで比較的安全に運動強度を調整できるため、いつもどおりのウォーキングと強度の高いウォーキングを交互に織り交ぜることで下肢筋力や全身持久力の向上が期待できます。この講座では、運動効果を向上させるためのストレッチングとウォーキングを組み合わせたハイブリッドエクササイズを皆さんと実施します。

講師 川端 悠（大阪公立大学 スポーツプログラム開発センター長/国際基幹教育機構 准教授）



申込締切
9/13(日)

美術史は革命の歴史？！ —ルネサンスからモダニズムまで

人文

講座の詳細・申し込み ▶



日時：10月7日(水)～11月11日(水) 14:00-15:30 各水曜日・全6回

定員：60名 受講料：5,000円（全6回分）

URL：https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-06972.html

I-siteなんば

講義概要

西洋美術の歴史には大きな革命がいくつかありました。とりわけ重要なのが、ルネサンス、アカデミー創設、印象派、モダニズムです。実は、現在よく知られる美術史は、革命の美術史を記述しているのです。それらは前の時代に当然であったものを否定し、従来はなかったものをつくりだし、人々の見方を大きく変えた革命でした。そこで旧体制として否定されたものもかつては革命でした。美術作品を単に好きか嫌いかで見るのはつまらないことです。美術の歴史は、個人の好悪を越えて、美術以外の諸要素とからみあいながら、次の時代をつくりだしてきました。美術の歴史がどういう点で「革命」の歴史であるのか、「革命」において女性画家はどのような立場にいたのか、乗り越えられた旧体制はどういうものだったか。それらを講じるなかで、文化のダイナミズムを感じていただければと思います。具体的な作品とともにお話を進めます。

講師 萩原 弘子（大阪府立大学 名誉教授）



講義スケジュール

第1回
10月7日(水) ルネサンス美術という革命—人体、写実、世俗

第2回
10月14日(水) 肖像画と風景画—富、家柄、空間

第3回
10月21日(水) 静物画—狩猟と所有、象徴の文法

第4回
10月28日(水) アカデミーの登場—国家政策としての芸術

第5回
11月4日(水) 印象派の革命性—脱神話と日常

第6回
11月11日(水) モダニズム革命の意味と矛盾—ピカソはスゴイ？



Johann Zofanny,
The Family of Sir William Young (c. 1767)



Jan Fyt, Hare, Fruit and Parrot (1647)

申込締切
10/6(火)

博学連携講座

人文

豊臣時代の大坂城・城下町の新研究

講座の詳細・申し込み ▶



日時：11月2日(月)、11月9日(月)、12月7日(月)、12月14日(月)

18:30-20:00 各月曜日・全4回

定員：100名 受講料：4,000円（全4回分）

URL：https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-07234.html

I-siteなんば

講義概要

NHK大河ドラマの影響で、豊臣秀吉・秀長の様々なエピソードや人間関係が新たに知られたり、再評価されたりしています。この連続講座では、最新の研究成果によって大坂城・城下町の実像がどこまで解明されたのか。通説から何が変わってきたのか。それぞれのテーマの専門家に深掘りして、話していただきます。



講義スケジュール

「首都」としての大坂

第1回
11月2日(月)

豊臣秀吉による大坂築城以降、大坂は「首都」の一環として栄えました。今回は、成立期の大坂城の役割と、大坂城を訪れた大名たちの記録に注目して、その具体的な姿を解き明かしていきます。

講師：谷 徹也（立命館大学 文学部 教授）

縄張りからみた豊臣大坂城

第2回
11月9日(月)

豊臣大坂城には分厚い研究史がありますが、その縄張り(平面プラン)の検討は決して多くはありません。そこで天正11年(1583)に築かれた「詰ノ丸」などの縄張りを検討し、城郭史上における位置づけを探りたいと思います。

講師：中西 裕樹（京都先端科学大学 全学共通教育機構 特任准教授）

家臣団・大名屋敷の配置からみた大坂城・城下町の空間構造

第3回
12月7日(月)

豊臣大坂城・城下町の空間構造は不明な点が少なくありません。ここでは家臣団や従属した大名の屋敷が置かれた場所を検討し、武家の支配拠点という観点からその空間構造の実態と特徴を考えてみます。

講師：大澤 研一（北御堂ミュージアム 名誉館長）

豊臣大坂城下町の形成と拡大

第4回
12月14日(月)

豊臣秀吉が築いた大坂城下町は、戦国時代の本願寺寺内町や渡辺津を前提としました。完成した城下町は京都につぐ規模の都市となり、近世・近代大阪（大坂）発展の基礎となります。大坂城下町の形と機能についてお話しします。

講師：仁木 宏（大阪公立大学大学院 文学研究科 教授/大阪歴史博物館 館長）



生活・健康

受付開始
9月中旬聞こえているのに聞き取れない
— 「聞き取り困難症（LiD）」を知る —

日時：11月27日(金) 14:00-15:30 金曜日・全1回

定員：60名 受講料：1,000円

Webページ公開・申込受付開始：9月中旬～

I-siteなんば

講義概要

音は聞こえているのに、会話やアナウンスを言葉として聞き取りにくいことがあります。この講座では「聞き取り困難症（Listening difficulties: LiD）」について、症状の特徴、生活で起こりやすい場面、研究から分かってきたこと、周囲ができる配慮をわかりやすく紹介します。

* 音声認識ツールを用いて講義音声を字幕投影する予定です。

講義では、聞き取り困難症（LiD）とは何かを、日常の具体例を交えて説明します。聞こえ・聞き取り・理解の違い、困りごとの気づき方、医療や研究の現状、家庭や地域でできる工夫を一緒に考えます。

講師 阪本 浩一（大阪公立大学大学院 医学研究科 聴覚言語情報機能病態学寄附講座 特任教授）

受付開始
未定

和歌山大学連携事業公開講座

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。

日時：12月10日(木) 18:00-19:30

講師：則定 百合子（和歌山大学 教育学部 心理学専攻 教授）

主催：大阪公立大学

I-siteなんば

日時：12月16日(水) 19:00-20:30

講師：生田 英輔（大阪公立大学 共創研究機構都市科学・防災研究センター 教授）

主催：和歌山大学

南海波切ホール

受付開始
未定

関西大学連携事業公開講座

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。

日時：2月27日(土) 14:00-15:30

講師：天野 景太（大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授）

主催：関西大学

関西大学梅田キャンパス

日時：3月10日(水) 15:00-16:30

講師：伊藤 健（関西大学 システム理工学部 機械工学科 教授）

主催：大阪公立大学

I-siteなんば

受付開始
12月上旬

音楽と科学 ～その共通性を探して～

理工

日時：2月8日(月)～3月15日(月) 14:00-15:30 各月曜日・全6回

定員：50名 受講料：5,000円（全6回分）

Webページ公開・申込受付開始：12月上旬～

I-siteなんば

講義概要

一見あまり共通点が無いように思われる音楽と科学について、歴史的共通性、論理的共通性、さらに振動数と和音および調律法との関係について考えることにより、互いに関連する事柄を見つけていきます。

講師 川又 修一（大阪公立大学 名誉教授）



講義スケジュール ※前期に実施した講義内容と同じ内容です。

第1回 2月8日(月)	自由七課、ガリレイ父子、ニュートンとバッハ 西洋中世の大学における教養科目で音楽は理科系科目に分類されていました。また、ガリレオ・ガリレイが一般の科学研究に数値解析を導入したきっかけを紹介します。さらに、古典力学を確立したニュートンと音楽の父バッハの歴史的役割の共通性を考えます。
第2回 2月15日(月)	変奏曲と和声進行 科学では基本法則に基づいて様々な現象が説明されます。音楽においても基本となる要素を様々な発展させることにより曲が構成されています。変奏曲と和声進行をととして音楽における論理的構成について考えます。
第3回 2月22日(月)	振動の物理、楽器と振動数、対称性 音は空気の振動現象です。振動数と波長を考えることにより、低音の楽器（例：チェロ）が高音の楽器（例：ヴァイオリン）よりも大きいのは何故かについて理解できます。また、物理学で大変重要な概念である対称性について、音楽における例を紹介します。
第4回 3月1日(月)	ピタゴラスと和音・音律 ギリシャ時代のピタゴラスは弦の長さとの関係性を調べました。その結果に基づき西洋では14世紀至るまでピタゴラス音律が調律法の基本でした。振動数比 2 : 3 を基本にして構成されるピタゴラス音律を紹介します。
第5回 3月8日(月)	純正律と平均律 ルネサンスの始め頃にドとミが協和する純正律が導入されました。さらに19世紀の終わりごろピアノの普及とともに平均律という調律法が広く使われるようになりました。
第6回 3月15日(月)	音律と響きの変遷 ピタゴラス音律、純正律、平均律等の音律、調律法と和声の観点から響きの歴史について総括してみます。

* 本冊子に掲載していない講座もあります。

* 各講座の詳細および申込ページは、順次Webサイトに公開されます。

（開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております）

大阪公立大学 生涯学習・公開講座WebサイトURL

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>



受付中
(先着順)文化交流センター・野村證券株式会社共催講座
私たちの暮らしとお金を考える

社会

講座の詳細・申し込み ▶



日時：10月22日(木)・10月29日(木) 18:30-20:00

定員：各120名（先着順） 受講料：無料 ※各回ごとに申し込み

URL：https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-07113.html

文化交流センター

講義概要 投資に必要な知識を2回の講義でわかりやすく解説します。**講師** 下村 満美子（野村證券株式会社 梅田営業部 ウェルス・マネジメント課 ファイナンシャル・アドバイザー）

講義スケジュール

①金融商品の基礎知識

第1回
10月22日(木) 株式と債券

「株式」「債券」について解説します。

②投資の基礎知識

第2回
10月29日(木) 分散投資とNISAの使い方

「投資信託と分散投資」「NISAの利用方法」について解説します。



※文化交流センター・野村證券株式会社共催講座のお問い合わせ

TEL：06-6344-5425 Eメール：gr-shak-bunkou2@omu.ac.jp



大阪駅



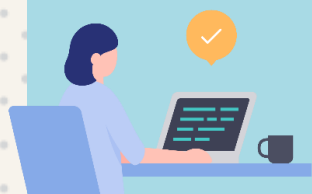
文化交流センター ホール

大阪公立大学公開講座「受講にあたって」、よくある質問集「Q&A」はこちらに掲載しています。

受講にあたって ▼

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/howto/>

Q&A ▼

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/qa/>

受付開始
10月上旬

文化交流センター 専門家講座

「専門家講座」のお問い合わせ
電話：06-6344-5425（文化交流センター）
Eメール：gr-shak-bunkou2@omu.ac.jp

横断

日時：11月19日(木)～2月25日(木) ※予定 18:30-20:00

定員：各120名（先着順） 受講料：1回 500円 ※各回ごとに申し込み

Webページ公開・申込受付開始：10月上旬～

文化交流センター

講義概要

1984年新春の開催以来、40年以上の歴史を誇る大阪公立大学文化交流センターの「専門家講座」です。これまでに1,504回の講義を開催しています。今年度から新たに農学の講義を開催します。貴方の「なぜ？どうして？知りたい！」に、大阪公立大学OB等の大学教員、弁護士、公認会計士、獣医師等の専門家がお答えします。



講義スケジュール

11月19日(木)	便利さの代償と人間の退化 ー スポーツから学ぶ真の幸せ	植田 真司 (株式会社ニーズ創造研究所 代表取締役 /大阪経済大学 客員教授)
11月26日(木)	大阪生まれの芥川賞・直木賞作家 開高健と藤本義一	小辻 昌平 (直木三十五記念館 事務局長)
12月1日(火)	「生きている細胞は物質の集まりではない」 ー 全ての皆さまにドキドキをとどけますー	宮田 真人 (大阪公立大学名誉教授・理学研究科 特任教授)
12月8日(火)	「薬のまち・大阪」復興への新たな一歩 ～大阪公立大学のアカデミア創薬への挑戦～	長崎 健 (大阪公立大学大学院 創薬科学研究科 教授)
12月10日(木)	「農と福祉の連携」の新たな展開に向けて ー大阪府の取組みを中心にー	永井 啓一 (株式会社 ASK農・福 代表取締役)
12月17日(木)	食事と健康、食事と病気	長井 直子 (大阪大学医学部附属病院 栄養マネジメント部・栄養管理室長)
1月7日(木)	私たちの税金 ー 所得税	吉松 宏晃 (吉松会計事務所 所長/公認会計士/税理士)
1月12日(火)	IT時代の刑事裁判 ～実は国民のための法改正ではない!?～	土井 稜太 (弁護士法人ももとせ 放出法律事務所 弁護士)
1月14日(木)	企業分析による企業の強みや課題を掴むコツ	大枝 伸一 (おおえだ公認会計士事務所 代表/公認会計士)
1月19日(火)	介護と遺言・相続の話 ～遺言のできる家族への配慮～	上田 智子 (カルミア法律事務所 弁護士)
1月21日(木)	優良企業の見分け方と決算書の点検の仕方	山添 清昭 (山添公認会計士事務所 所長/公認会計士)
1月26日(火)	交通事故に遭って慌てないために	川崎 聡介 (アトム京都法律事務所 弁護士)
2月2日(火)	コミュニケーション能力アップ！相手に伝わる話し方	さわ ともか (フリーアナウンサー/元東北放送アナウンサー)
2月4日(木)	黒船がやってきた①浦賀の黒船が見た流星:ペリーの 文学的素養と海軍・政治のパラダイム	中西 佳世子 (京都産業大学 文化学部 教授)
2月9日(火)	はじめての資産運用 ～NISA・iDeCoを上手に使う～	後藤 美和 (ファイナンシャルプランナー)
2月16日(火)	証券市場の仕組み	林 英生 (株式会社大阪取引所 金融リテラシーサポート部 課長)
2月18日(木)	黒船がやってきた②ペリーのエンターテインメント 外交：艦上劇ミンストレル・ショーと日米文化の相互環流	中西 佳世子 (京都産業大学 文化学部 教授)
2月25日(木)	肉牛を知りつくした獣医師が語る神戸ビーフの なりたち	岡 章生 (ささえあ製薬株式会社 学術部 シニアテクニカル アドバイザー/獣医師/獣医学博士)

Enrich

学問を深める



申込締切
9/2(水)

授業公開講座（後期）

横断

講座の詳細・申し込み ▶



定員：各科目10名 受講料：1科目15,000円

URL：https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-07067.html

授業公開講座は、大阪公立大学の一部の授業科目を一般の皆様に公開し、学生とともに受講していただく講座です。

申し込み締め切りは9月2日(水)です。

※授業内容はあくまで本学の学生を対象としたものとなりますので、あらかじめご了承ください。

※受講学生がいなかった場合は開講いたしません。

※単位取得は一切できません。



ドイツ法

社会

日時：9月29日(火)～授業日に基づく

火曜日 10時45分～12時15分（第2時限）

木曜日 9時00分～10時30分（第1時限） 全30回（予定）

講師：守矢 健一（大阪公立大学大学院 法学研究科 教授）

杉本キャンパス

近現代の日本法の基本構造形成にあたり、西洋法が与えた影響は大きく、世界史的にも類例が余りありません。なかでもドイツ法学が日本法に与えた構造的影響は軽視しえないのです。他方、国家の構造という観点に即してみると、ドイツは連邦制を採り中央集権的ではないのに対し、日本は東京を中心とした国制構造を前提とした法制度となっています。そこで、日本にドイツ法が継受されたことの意味は何か、をよく考えねばなりません。その際、現在のドイツ法を制度の表層において把握するだけでは、現行ドイツ法の理解も浅薄になり、ドイツ法の展開を、ヨーロッパの長い歴史を背景において観察することが重要です。

またドイツでは、ナチズムと呼ばれる1933年から1945年のあいだに、法制度の主要なものが大きく破壊されました。法伝統の豊かな社会でなぜそのようなことが起こり得たのかを理解することも、法の意義を原理的に理解するうえで、重要な課題です。本講義では以上のことに、正面から取り組む所存です。

国際社会と政治

社会

日時：10月1日(木)～授業日に基づく

木曜日 15時00分～16時30分（第4時限） 全15回（予定）

講師：永井 史男（大阪公立大学大学院 法学研究科 教授）

森之宮キャンパス

現代の国際社会にはさまざまな問題が山積しています。国家間戦争、軍拡や軍縮、内戦と国家破綻、平和構築、グローバリゼーションと反グローバル化、貧困と開発、地球環境問題、民族問題とナショナリズム、移民・難民問題、地域統合など枚挙に暇がありません。

この授業では、国際社会が直面する上記のようなアクチュアルな問題を具体的に取り上げながら、問題発生の背景、原因、解決に向けての取り組みなどを多角的に分析します。その分析にあたっては、国際政治学の知見や方法論を参照しながら、できるだけわかりやすく解説します。

【教科書】草野大希・小川裕子・藤田泰昌共編『国際関係論入門』（ミネルヴァ書房、2023年）

お申し込み方法について

以下は大阪公立大学生涯学習センターで実施する公開講座の一般的な受講の流れです。講座によって異なる場合がございますので、受講料のお支払い方法や注意事項については、各講座の詳細ページ及び受講案内を必ずご確認ください。

各講座の詳細は「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」に掲載します。

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>

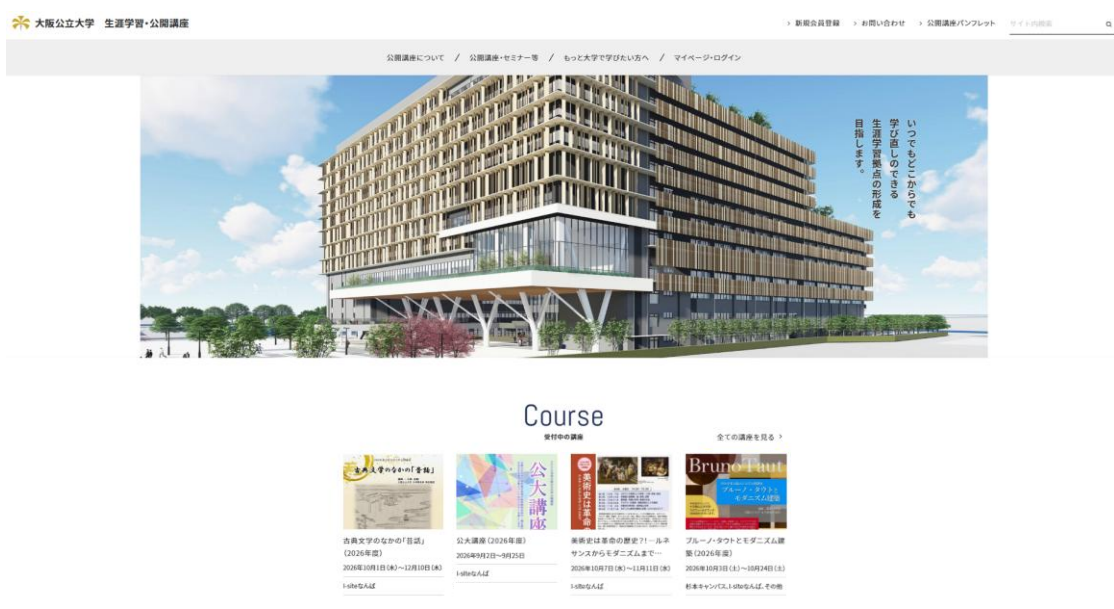


Webサイトにアクセス

上記URLまたは二次元コードから「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」にアクセスし、ご希望の講座を検索してください。



大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト TOPページ画面



受付中の講座が画面に表示されます。

講座内容を確認

ご希望の講座をクリック（またはタップ）すると詳細ページへ進みます。

講義概要、スケジュール、申込方法等をお確かめください。

※本冊子に掲載していない講座もあります。

※各講座の詳細および申込フォームは、順次Webサイトに公開されます。

開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております。



次頁に続く



お申し込み方法について

前頁からの続き



(ご注意ください) 講座によってお申し込み方法が異なります。
必ず講座ごとに内容をご確認ください。

お申し込み



受講案内を受け取る



Webサイトからのお申し込み

各講座の詳細ページ「申し込む」ボタンから申込フォームへアクセスし、必要事項をご入力の上送信してください。

受付完了通知メールが届きますが、受講決定通知ではありません。

申込締切後、大学から受講案内メールをお送りします。



往復はがきによるお申し込み

往復はがきの往信用文面に必要事項をご記入の上お送りください。

※講座によりはがきでのお申し込みが不可の場合や記入する内容が異なる場合がございます。詳細は各講座のチラシまたはWebページの申込方法を必ずご確認ください。

申込締切後、大学から受講案内はがきをお送りします。



※応募者多数の場合は抽選の結果をお送りします。後日キャンセルが出た場合は、選に漏れた方の中から再抽選のうえ、繰り上げ当選のご案内をする場合があります。

個人情報について：

お申し込みの際の個人情報は、申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成及び本学公開講座のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

受講準備



受講当日

対面講座

開講日までお待ちください。

受付で受講料をお支払いください。
(現金またはキャッシュレス決済)

※連続講座の場合は初回受講時に全回分をお支払いいただきます。

オンライン講座

受講案内に従い受講料をお支払いください
(銀行振込またはオンライン決済)。
また、インターネット環境やZoomアプリ等をご準備ください。

メールに記載のリンク等からオンライン講座に参加してください。

* オンライン講座の受講方法はこちらをご覧ください ▶▶

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/application/>



大阪公立大学公開講座には、各種サービスをご利用いただける「会員制度」もございます。
ぜひご登録ください。

会員制度について ▶



新規会員登録 ▶



* 会員登録は任意です。

* 登録にはメールアドレスが必要です。



本学が実施する公開講座についてご案内いたします。公開講座にお申し込みいただく前に、以下の内容をよくお読みくださいますようお願いいたします。

1. 大阪公立大学公開講座のご案内

本学では学術研究の成果を公開することにより、地域社会に広く生涯学習の機会を提供することを目的として、公開講座を開催しています。

公開講座は、年齢・学歴を問わずどなたでも受講できます。対象者、受講料、開講日時など、講座ごとに受講条件が指定されていますので、Webサイト上の各講座のページ、公開講座ご案内パンフレット(半期ごと)、各講座の案内チラシなどで詳細についてご確認ください。

2. 開催形式

・対面講座

本学の施設を主な会場として受講いただきます。学外が会場となることもございます。

※自然災害等やむを得ない事情により、オンライン講座に変更となる場合がございます。

・オンライン講座

パソコン、タブレット、スマートフォンなどを使用して、好きな場所からYouTube、Zoom等にて視聴（受講）いただけます。

※パソコン、タブレット、スマートフォンなどの視聴用の端末及びYouTube、Zoom等を視聴できるインターネット環境が必要です。

※視聴にかかる通信費等は受講される方のご負担となります。

※視聴用の端末や視聴用ソフトに関するトラブル、ご自身の通信環境等が原因の問題や障害などにつきまして、個別の対応・補償はいたしかねます。

3. お申し込み・お支払い

講座によってお申し込み方法やお支払い方法が異なります。Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシをご確認ください。

講座の内容に応じて、受講に一定の資格・条件を付している場合があります。

講座の受講において、特別な配慮を希望される場合は、申し込み前に各講座の問い合わせ先までご相談ください。

受講料には消費税が含まれています。

お支払い方法に銀行振込が指定されている場合、振込手数料はご自身でご負担ください。

お支払い方法にオンライン決済または銀行振込が指定されている場合、支払額に過不足がないように十分にご注意ください。

4. キャンセルポリシー

講座開始前であれば、お申し込み後のキャンセルが可能です。ただし、お申し込み後に受講できなくなった場合は、各講座のページまたは各講座の案内チラシに記載の問い合わせ先まで必ずご連絡ください。

講座開始後にキャンセルされた場合、受講料の返金はできません。

ご連絡なくキャンセルが続く場合、受講をご遠慮いただく場合がございます。

5. 受講

お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。

同伴や見学は、お断りいたします。

施設内は禁煙です。飲食については各施設のルールを順守してください。

貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

会場が本学施設の場合、車両でのご来学はご遠慮いただいております。公共交通機関あるいは近隣の有料駐車場をご利用ください。

講座の写真撮影、ビデオ撮影、録音、録画は禁止いたします。

本学の記録用として、対面講座で写真撮影またはビデオ撮影させていただく場合がございます。

本学の記録用として、オンライン講座で録画をさせていただく場合がございます。

6. 講座の中止・休講・補講など

受講者が一定数に満たない場合、その他やむを得ない理由により開講を中止する場合がございます。

自然災害、交通機関の事情、講師の都合、その他やむを得ない事情により講座を休講とする場合がございます。その際の交通費についての補償はできません。補講の有無については別途ご案内いたします。

休講や中止となった場合は、Webサイトの「緊急のお知らせ」（情報がある場合のみトップページに掲載）にてお知らせするほか、メールなどで個別にご連絡を差し上げる場合がございます。

補講に出席できない場合でも受講料の返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

受講料をお支払いいただいた後に本学の判断により中止や休講となる場合、受講料の一部を返金することがあります。返金は、受講者の銀行口座への振込みのみとなります。

7. 資料

資料のみの販売はいたしません。

資料を複写、転載、配布、送信等二次利用することは固く禁じます。

講座によって、テキストを指定し、ご購入いただく場合がございます。

テキストを購入した講座が中止になった場合、ご自身で購入されたテキスト代についてのご請求・返金には応じられません。あらかじめご了承ください。

8. 受講資格の取消

以下のような好ましくない行為があった場合は、本学の判断により、教室からの退出、講座への出席禁止、あるいは損害の賠償を求める場合がございます。

- ・法令に違反する行為又は犯罪行為に関連する行為
- ・公序良俗に反する行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為
- ・反社会的勢力等への利益供与
- ・第三者になりすます行為
- ・本学の許可なく、公開講座の会場での営業、宣伝、広告、勧誘、その他営利を目的とする行為
- ・面識のない者との出会いや交際を目的とする行為
- ・公開講座の会場で他の講座受講生の情報を収集する行為
- ・宗教活動又は宗教団体への勧誘行為
- ・本学の許可なく、公開講座の内容の録音、録画その他の記録又は保存を行う行為並びに講座受講生以外に対し視聴可能にさせる行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等に過度の負荷をかける行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等への不正アクセス



- ・以下に該当し、又は該当すると本学が判断する情報を本学又は他の講座受講生に送信する行為
 - コンピューター・ウィルスその他の有害なコンピューター・プログラムを含む情報
 - 過度に暴力的、残虐的、猥褻な表現を含む情報
 - 差別を助長する表現を含む情報
 - 自殺、自傷行為、薬物の不適切な利用を助長する表現を含む情報
 - 反社会的な表現を含む情報
 - チェーンメール等の第三者への情報の拡散を求める情報
 - 他人に不快感を与える表現を含む情報
- ・本学教職員（外部講師を含む）、他の講座受講生へ迷惑となる行為や講義の進行を妨げる行為
- ・前述の行為を直接又は間接に惹起し、又は容易にする行為
- ・その他、本学が不適切と判断する行為

9. 個人情報の取扱い

お申し込み等において本学にご提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシーに基づき、講座申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。これらの利用目的以外には、一切使用いたしません。

<お願い>

上記とは一部異なる条件で講座を実施する場合がございます。講座の詳細につきましては、Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシを必ずご確認ください、ご了解いただいた上でお申し込みくださいますよう、お願いいたします。

無料

大阪公立大学公開講座・生涯学習Webサイトでは、講義動画を公開しています。本学の教員が自身の教育研究内容の一端をご紹介します、さまざまな専門分野について分かりやすくお話しします。ぜひ、ご自身の学習にお役立てください。

講義動画公開中！ ※全編字幕付き

講義動画はこちら↓

- 北魏の廃仏と中国撰述仏典
- ジェントリフィケーションーロンドン東部スピタル フィールドの事例
- 建築公開イベント「東京建築祭」が目指していること
- 中原中也とランボーの韻律：フランスのうた
- 「親ガチャ」という嘆きに「教育無償化」は福音か？
- テレスコープアレイ実験で検出された史上最大級のエネルギーをもつ宇宙線
- 自律型海中ロボットと海洋環境生態系のモニタリング
- 公開講座の源流ー学問の公開ということをめぐるー
- はじめての生成AI入門ー基礎から実践まで～（2026年度公開予定）



講義動画はこちらのURLまたは二次元コードよりご覧ください。
<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/movie/>

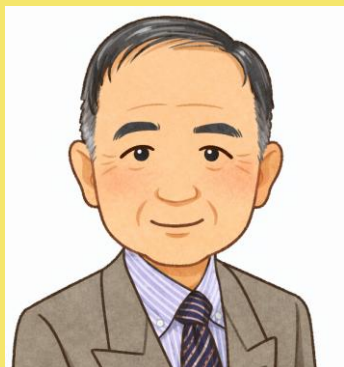


どなたでも
自由にご視聴
いただけます



本学の公開講座に長年通い続けてくださっている受講生にお話を伺いました。
どの言葉にも学びを続けてきた人ならではの実感と熱があります。ぜひその声に触れてみてください。

—「人生百年時代、好奇心を持って楽しく学びましょう」—



リタイアを機会に外部との接触を持てるものを探していた際、インターネット上で大阪府立大学の公開講座を見つけ、「関西経済論」の講座を初めて受講したのがきっかけです。

継続して受講している理由は、知らなかった事を知る楽しみが得られるからです。長年研究されてきた講師の先生方がうんちくを含めて詳しく解説してくださるので、つい引き込まれていきます。また受講生にシニアの方が多いためか、講師の先生方がご自身の人生観も交えて講義してくださるよう感じる時があります。時間に縛られず、興味のある講座を選択して受講できる点も良いところだと感じています。

印象に残っている講座は、コロナ禍が一段落した時期に受講した「人類と感染症との戦い～薬剤耐性菌の脅威と制御～」です。難しい内容をわかりやすく解説していただいた先生方に深く感謝しています。また田中宗博先生の「『宇治拾遺物語』の説話を読み解く」の講座で、たまたま隣の席に座っていた受講生の方と「今日の講義は楽しかったね」と話し合ったことも、うれしい思い出として残っています。

最後に、このパンフレットを読んでくださっている皆さまへ。

継続して学ぶことは、知識を得る楽しみだけでなく、認知症予防にもつながるのではないかと考えています。定年退職後、自宅にこもりがちな方にこそ、ぜひおすすめしたい学びの場です。人気の講座は倍率が高いこともありますが、ぜひ大阪公立大学の公開講座に申し込んでみてください。人生百年時代、好奇心を持ち続け元気で楽しく過ごしましょう。

2026年度 K.M様 (70代)

—「“学び直しのワクワク”が心の豊かさを生み出します。」—



私が大阪公立大学（当時は大阪府立大学）の公開講座を知ったのは、定年退職を迎え、仕事も子育てもひと区切りし、自分の時間を持てるようになった時、友人から勧められたことがきっかけでした。

学生時代は学ぶことよりも遊びに夢中だったと振り返りつつ、今は改めて「学びの大切さ」を実感しています。心身の健康を保ち、エンジンをかけ続けるためにも、充実した時間を持ちたいという気持ちが継続的な受講につながっています。通いやすい場所や時間帯、受講しやすい料金、そして興味を引く講座内容も大きな魅力です。

印象に残っている講座は、細菌学、未知なるチベット茶を味わう、人類と感染症との戦い、そして田中宗博先生が担当された「今昔物語集」の説話を読み解くです。学生時代に戻ったようなワクワク感があり、学び直す自分を客観的に見つめられる貴重な時間でもあります。特に田中宗博先生の楽しげな語り口からは、先生ご自身の『好き』が伝わり、こちらまで自然と楽しい気持ちになります。沖縄民謡の「♪キジムナーがチョンチョン♪」は、今でもふと口ずさんでしまうほど心に残っています。

大阪公立大学の公開講座の魅力は、身近でタイムリーなテーマ設定と、親しみやすく分かりやすい先生方の講義にあります。つい家にこもりがちの方、楽しみが見つからない方、あるいは「学べる時に怠けてしまった」と感じている方にこそ、ぜひ受講していただきたいと感じています。継続して学ぶことで、自分の世界の小ささと未知の世界の大きさを知り、学ぶことの楽しさを知りました。前向きな気持ちや心の豊かさを得て、より充実した時間が増えてきています。

最後に、このパンフレットを読んでくださっている皆さまへ。

老若男女を問わず、いつも元気で活き活きと過ごす為に、公立大学の公開講座を受講してみてください。お勧めします(*^^*)

2026年度 OKEISAN様 (60代)

交通アクセス

公開講座の会場(本学施設)

車両での来学はご遠慮いただいております。
公共交通機関をご利用ください。

I-siteなんば

大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号
南海なんば第1ビル 2階・3階

- 南海電鉄「なんば駅(中央出口)」下車、南海線東側の道を南へ約800m、徒歩約12分
- 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ420m、徒歩約6分
- Osaka Metro御堂筋線「なんば駅(5号出口)」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分
- Osaka Metro御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1番出口)」下車、東へ約450m、徒歩約7分
- Osaka Metro堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」下車、西へ約450m、徒歩約7分

I-siteなんば アクセスマップ



杉本キャンパス

大阪市住吉区杉本3丁目3番138号

- JR阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東口すぐ
- Osaka Metro御堂筋線「あびこ駅(4号出口)」下車、南西へ徒歩約15分

杉本キャンパス アクセスマップ



交通アクセス

森之宮キャンパス

大阪市城東区森之宮2丁目1番132号

- Osaka Metro中央線・長堀鶴見緑地線、JR大阪環状線「森ノ宮」駅、徒歩約13分
- Osaka Metro長堀鶴見緑地線「京橋」駅、徒歩約20分
- JR大阪環状線・東西線・学研都市線、京阪本線「京橋」駅、徒歩約15分
- Osaka Metro中央線・今里筋線「緑橋」駅、徒歩約15分
- Osaka Metro今里筋線、JRおおさか東線・学研都市線「鳴野」駅、徒歩約13分

森之宮キャンパス
アクセスマップ

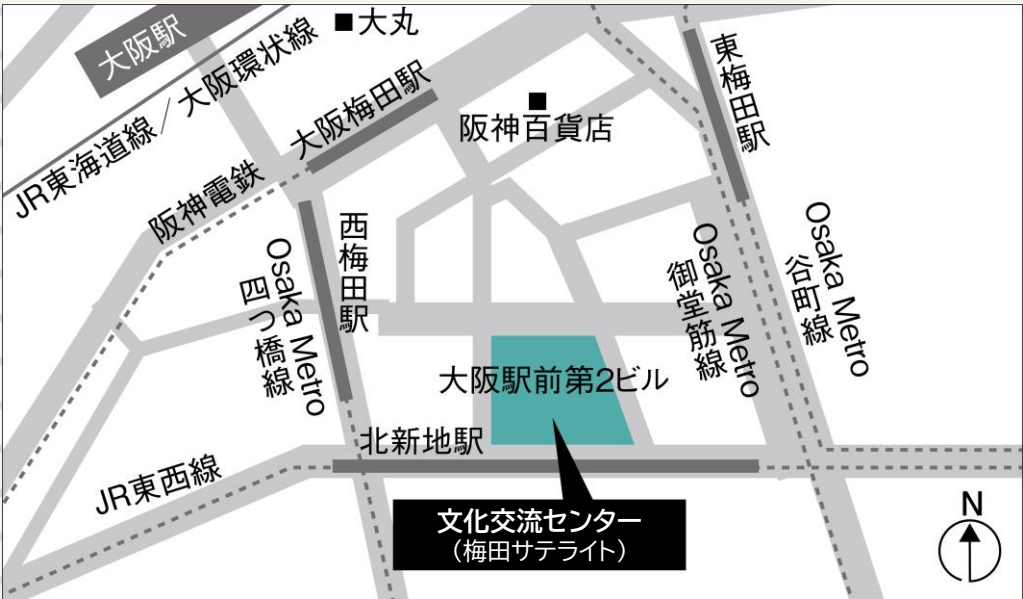


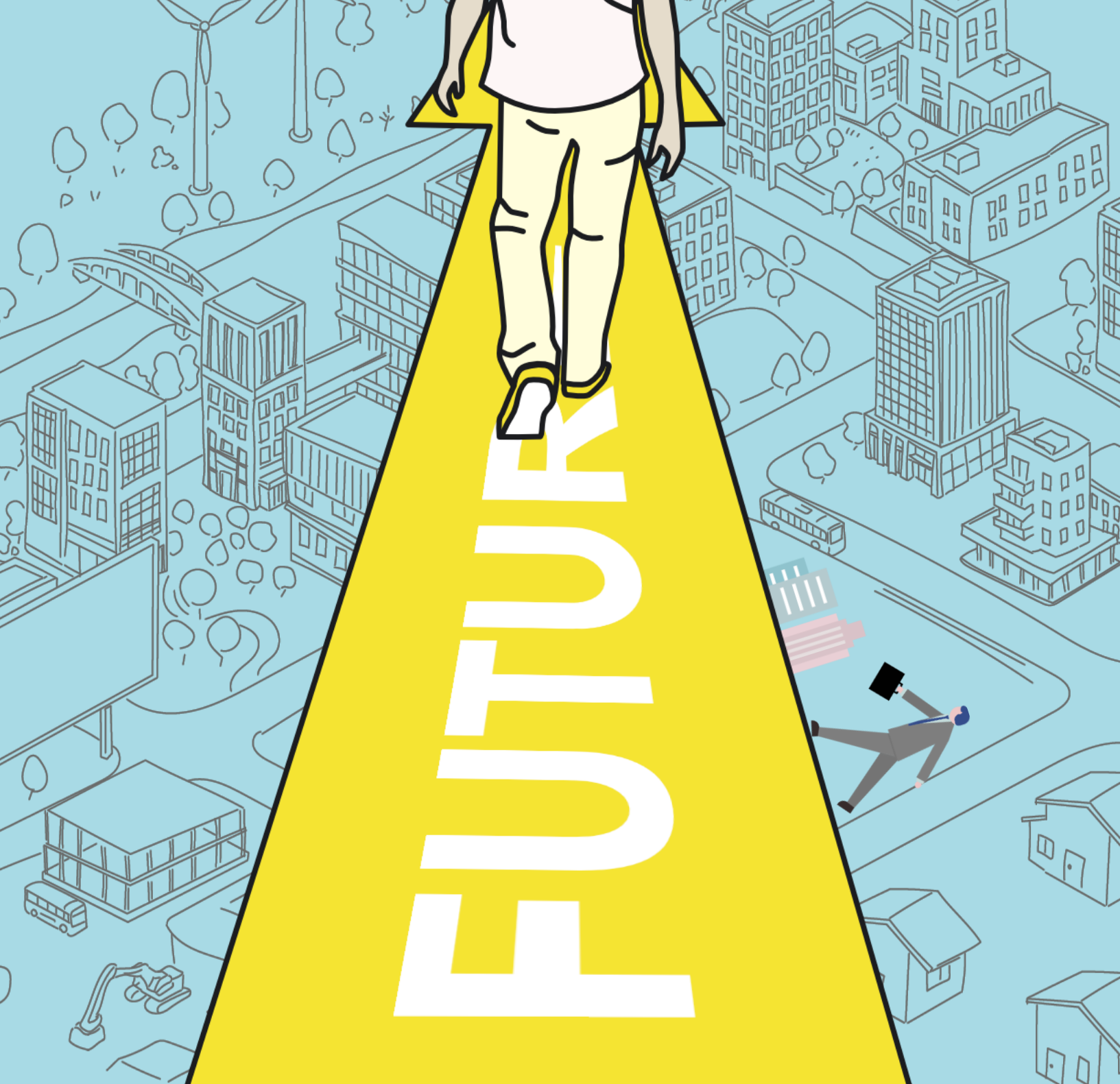
文化交流センター
(梅田サテライト)

大阪市北区梅田1丁目2番2号600
大阪駅前第2ビル6階

- JR東西線「北新地駅」下車、徒歩約1分
- Osaka Metro四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約5分
- Osaka Metro御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪急電鉄「大阪梅田駅」下車、徒歩約15分
- JR大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約10分
- Osaka Metro谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電鉄「大阪梅田駅」下車、徒歩約10分

文化交流センター
アクセスマップ





■お問い合わせ・チラシのご請求

大阪公立大学 産学官民共創推進室
社会連携担当（生涯学習センター）

〒556-0012
大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル 2階・3階
大阪公立大学 I-siteなんば

Tel 06-7656-5112
Fax 06-7656-5203
E-mail gr-shak-ext01@omu.ac.jp

※受付時間：月～金曜日 9:00～17:30
（祝日および休業日を除く）

大阪公立大学
生涯学習・公開講座
Webサイト



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

2026年8月発行